

「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」 の概要

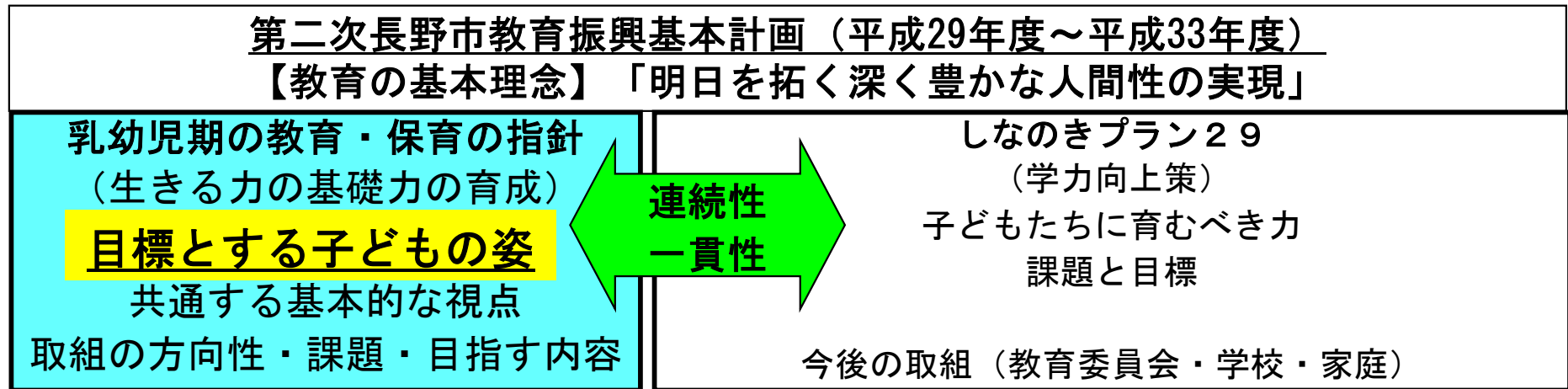
こども未来部 保育・幼稚園課



1 策定の趣旨

生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、「学びの入口」としても重要な乳幼児期の教育・保育について、就学期への連続性・一貫性という視点も踏まえ、長野市教育の基本理念「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」につながる基本指針等を新たに策定したものの

2 指針の位置づけ



3 指針の期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

4 目標とする子どもの姿

本市の豊かな自然と文化を生かした安全な環境の中、子ども達が「遊び」や「生活」を通して、小学校からその先の「生きる力」の基礎を培うことによって実現する、目標とする子どもの姿として定める。

かがやく笑顔で げんきに遊ぶ しなのキッズ

かがやく笑顔で げんきに遊ぶ しなのきッズ

自分で健やかな生活をつくろう。

(自律力)

- ・よく食べ、よく寝て、規則正しく生活する。
- ・自分でできることは、自分でやろうとする。
- ・きまりを守る。
- ・時間や状況に合わせて行動する。

感じて、考えて、チャレンジしよう。

(実践力)

- ・好奇心や探究心いっぱいの人やものに関わり、「やりたいこと」に夢中になる。
- ・自分の思いに向かって試行錯誤しながら最後までやり通す。

自信を持ち、自分を好きになろう。

(未来力)

- ・満足感や達成感を得たり認められた嬉しさを感じたりし、自信を持って、いろいろなことへの関心意欲を高める。
- ・心を動かすものや美しいものにふれ、やってみたいことや好きなことを持つ。

聴いて、話して、分かち合おう。

(絆力)

- ・戸外で様々な年齢の友達と元気に遊ぶ。
- ・相手に自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりし、分かり合おうとする。
- ・友達と共通の目的に向かってやり遂げ、喜びを感じる。
- ・友達の良いところに気付く。
- ・あいさつをする。

生活上の自立

(基本的生活習慣の自立、人・ものに関わる力の育成)

学びの自立

(興味・関心・意欲を高める)

精神的な自立

(自己肯定感・我慢する力の育成)

目標とする子どもの姿の実現に向けた基本的な3つの視点

6 基本方針の体系

4

基本方針Ⅰ
「育ちを豊かにする」
教育活動の推進

取組の方向性Ⅰ-1 自然環境を活かした体験活動の充実

Ⅰ-2 運動と集団遊びの推進

Ⅰ-3 人との関わりと表現力を養う活動の充実

基本方針Ⅱ
「育ちをつなぐ」
幼・保・小の連携

取組の方向性Ⅱ-1 アプローチカリキュラムの作成

Ⅱ-2 幼稚園・保育所・認定こども園の連携推進

Ⅱ-3 小学校との連携の充実

基本方針Ⅲ
「育ちを守る」
教育・保育環境
の充実

取組の方向性Ⅲ-1 きめ細かく丁寧な教育・保育の推進

Ⅲ-2 特別に配慮が必要な子どもへの支援の充実

Ⅲ-3 防災・防犯対策や交通安全対策の充実

基本方針Ⅳ
「育ちを支える」
家庭・地域との連携

取組の方向性Ⅳ-1 子育てのための家庭環境づくりの推進

Ⅳ-2 地域交流活動の充実

Ⅳ-3 子どもの人権擁護の推進

基本方針Ⅴ
「育ちを確かにする」
職員の力量の向上

取組の方向性Ⅴ-1 専門的な知識、技術に関わる研修の充実

Ⅴ-2 職場研修の充実

Ⅴ-3 保育士・幼稚園教諭等の自己評価と園の自己評価の推進

7 「取組の方向性」別の「目指す内容」

<p>I-1 自然環境を活かした体験活動の充実</p>	<p>I-2 運動と集団遊びの推進</p>	<p>I-3 人との関わりと表現力を養う活動の充実</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ、ものの美しさに気付く豊かな感性を育む ・見て、触れてなど、全身の感覚を使って体験ができる環境を整える ・信州型自然保育認定園を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを好きになり、自ら体を動かし楽しく遊ぶ子どもの育成 ・体力の向上に加え、判断力・抑制力・コミュニケーション力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対する関心、愛着、信頼感の育成 ・社会生活において望ましい生活習慣や態度の育成 ・自分とは異なる思いを持つ友達の存在に気づき、人には違いがあり、違っていいと理解する心の育成
<p>II-1 アプローチカリキュラムの作成</p>	<p>II-2 幼稚園・保育所・認定こども園の連携推進</p>	<p>II-3 小学校との連携の充実</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年長児後半から小学校1年生夏休み前までを見据えた接続カリキュラムの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・認定こども園による意見交換会を開催し、各施設の相互理解を進めるとともに情報共有を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携会議の充実を図るとともに、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の職員とによる意見交換の機会の設定 ・「小一プロブレム」解消に向けた、小学校における子どもの育ちを支えるために活用しやすい資料の作成

Ⅲ-1 きめ細かく丁寧な教育・保育の推進	Ⅲ-2 特別に配慮が必要な子どもへの支援の充実	Ⅲ-3 防災・防犯対策や交通安全対策の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・情緒が安定し安心して自己発揮ができる環境を整えるとともに、子ども一人一人の発達を捉えた教育・保育 ・丁寧なまなざし・対応・準備を基本に、子ども一人一人の思いを受け止めた、きめ細かな教育・保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、個別の指導計画を作成して教育・保育 ・様々な機関が連携・協力し、子どもの持つ力を高め、主体的に楽しく充実した園生活が送れるよう、子ども一人一人の特性に応じた適切な支援や指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯に対する意識や行動力を育むとともに、命の大切さを伝え続ける ・水防計画などを作成し防災への備えを高めるとともに、教諭・保育士の防災・防犯意識の高揚を図るとともに、確実な避難誘導ができる行動力を身につける ・手当ての方法、救急時の対応などの講習内容の充実

IV-1 子育てのための家庭環境づくりの推進	IV-2 地域交流活動の充実	IV-3 子どもの人権擁護の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに不安や負担を感じている保護者と、その家庭の状況・ニーズを正確に把握して、子どもの発達を喜び、抱きしめ、認めて見守る家庭作りを支援 ・保育参加やPTA活動を積極的に取入れ、保護者に開かれた教育・保育施設を目指す ・住民自治協議会や子育てサークル、保護者会等を対象とした子育て力向上の出前講座を企画・開催 ・7～8か月児健康教室で「長野市すくすくガイド」を活用し、保健師から家庭での基本的な生活習慣の育成に関する指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かで特色のある様々な地域資源を十分に活用し、「社会力」の基礎育成に取り組む ・地域の文化に触れ、地域に親しみや愛着が持てるように地域交流を指導計画に位置づけて、活動を推進 ・地域住民が教育・保育活動に参加することで、地域とともに子育て支援を行う教育・保育施設を目指す ・子育てサークルの交流活動を促進し、若い世帯が安心して子育てをすることができる環境づくりを支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする家庭を早期に把握するとともに、地域全体で子どもを見守り、健やかな育ちを保障する取り組み ・教育・保育施設において支援を必要とする子ども・家庭を発見した場合には、関係機関との連携により、速やかな対応を図る

V-1 専門的な知識、技術に関わる研修の充実	V-2 職場研修の充実	V-3 保育士・幼稚園教諭等の自己評価と園の自己評価の推進
<ul style="list-style-type: none">・必要な研修の内容と回数を明確にし、その体系化を図る・教育・保育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う大事なものであることを全ての職員が認識し、その職責を果たすために専門性と質の向上を図るため、日々の研鑽に努める	<ul style="list-style-type: none">・様々な研修によって得た知識や技術を用いて指導力の向上を図る・具体的な事例研究を重ね、各園の実践研究体制の強化を図る	<ul style="list-style-type: none">・保育士・幼稚園教諭等の自己評価と園の自己評価を教育・保育の改善と質の向上に活かす・第三者評価委員の導入について検討する

